

道の駅

ひだ朝日村



道の駅「ひだ朝日村」は朝日町万石地区に平成12年に建設されました。合併前の村の名をそのままに名付けられた朝日地区を代表する施設の一つです。芝生の中に遊具を設置したちびっ子広場やマレットゴルフ場があり、また、隣接するこだま館は全天候型の屋



おすすめの逸品グルメ

天ぷらうどん

「お食事処 蓬庵」では、道の駅「ひだ朝日村」を代表する特産品「元祖飛驒よもぎうどん」と季節に応じた天ぷらをセットにした天ぷらうどんがオススメです。5月から10月は地元で採れた山菜天ぷらが好評です。お立ち寄り際には、ぜひご賞味ください。840円(税込)



内運動施設として利用されています。「ひだ朝日村」では、よもぎを利用した特産品が多くあります。よもぎうどん、よもぎみだらし団子、よもぎアイスやよもぎカレーなど、数多くの特産品が並んでいます。また、近隣の農家からの新鮮野菜に日用品などお土産以外の品々も販売しています。毎年、冬期間は敷地内の高さ15mの氷のやぐらを中心に、

水で衣替えした道の駅として訪れる人々を楽しませています。また、夜間はライトアップし、いつもと違う幻想的な道の駅になります。2月6日(土)には「クリスマスライブinあさひ」が開催されます。ミニコンサートに抽選会、そして、イベントのフィナーレを飾る音楽に合わせ打ち上がる迫力満点の「音楽花火」を間近で体感してください。

市町村合併により日本一広い面積の自治体となった高山市ですが、道の駅の数も8カ所です。道の駅をもっと身近に感じていただくため、毎月1日号にて道の駅を一駅ずつとりあげるシリーズの第5回目です。今回は、国道361号沿いにあり、よもぎを使った特産品が並び、春には「よもぎ祭り」、冬には「ぶり街道祭り」などイベントでにぎわう道の駅「ひだ朝日村」をご紹介します。

●おすすめお土産

元祖飛驒よもぎうどん

使用するよもぎは、春一番に採れた新芽のみを使い、麺の出来を左右する塩には自然海塩を使用し仕上げました。麺は緑色に輝き、腰のある、つるつるのいいうどんです。太麺500円(税込)・細麺550円(税込)



好評発売中です。「すべらない輪」



地域のお年寄りたちが受験勉強真っ最中のみなさんに心をこめて作った縁起物です。(1個500円)
 ・荒縄は飛驒の冬のならわしとして履物に巻いて「すべらない」ように歩いていたことから縁起物として重宝されていました。しめ縄と同じ左巻きの縁起物。
 ・真っ赤な南天の実を飾りつけ「難を転じる」「何点でも取れる」(花言葉：機知に富む)
 ・アスナロを五角形(合格)に切ったお札。「明日(アス)は高校・大学生になろう(ナロ)」
 ・JR高山本線で標高が一番高い久々野駅。「試験でも一番になって」の願いも込めています。

●申込・問合せ先 ひだ桃源郷ぐの観光協会(☎52-2270 <http://www.kuguno.jp>)
 久々野支所地域振興課(☎52-3111)